

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.7 2003年7月27日

目次

会長あいさつ	1	施設紹介	6
総会の報告・社会局から	2	臨床奮戦記	7
学術局から	3	理事会報告	8, 9
研修会報告	4, 5	求人情報・事務局から	10

◆第3回総会を終えて

千葉県言語聴覚士会会長 村西 幸代

千葉県言語聴覚士会(以下、千葉県士会)が設立されてこの2年間、私達言語聴覚士を取り巻く環境は大きく変化して参りました。昨年度行なわれた「診療報酬改定」では「言語聴覚療法」が新設され、これまで診療報酬の対象として明記されていなかった、言語発達や難聴に伴う聴覚・言語機能の障害が明記されました。また、施設基準が設置され、一定の施設基準を持つところで有資格者が言語訓練サービスを提供する場合に診療報酬が算定されることになりました。また、今年度4月には、「介護保険の見直し」が行なわれました。ここでは、PT、OTと同様に個別訓練を行う事ができるようになりました。これら診療報酬の改定や介護保険の見直しは画期的なことであり、障害のある方にとりサービスの質の向上や、サービスを受けられる場の拡大につながるものであると同時に、言語聴覚士の存在を社会に知らせる効果があります。千葉県に在住する言語障害児者



のみなさまに、どの地域にいても同等のサービスを提供できるよう、これからも努力して参りたいと思います。

しかしこれらの改定や見直しは残念ながら必ずしも私達の領域の現状に合ったものとは言い難いところもあります。施設基準や単位の見直し、各種加算や、訪問リハビリの追加などさらなる改善を求めているばかりではありません。千葉県士会ではアンケートによる実態調査を行い、職域における各種の問題点の把握に努力しておりますが、これらの問題点を社会に広く理解してもらい改善を求めていくには、全国レベルの組織との連携が必要となって参ります。地域組織と全国組織が有機的に連携し、効率的に情報交換を行うことにより問題に対処できるようになると考えられます。今年6月7日に行なわれた、日本言語聴覚士協会総会では、第5号議案として「地域組織具体化の方針」が提出され、承認されました。

この件に関し千葉県士会と致しましては、昨年、地域組織検討委員会を設置し、アンケート調査を行いみなさまのご意見を広く頂きました。そして地域組織検討委員会より、「千葉県士会として独自性が損なわれない活動ができるよう、千葉県士会会員の意見を取り入れ、日本言語聴覚士協会に常に働きかけていくことを前提に、日本言語聴覚

士協会の提案した地域士会への参入に賛成する」という提言を頂きました。この提言をふまえ、理事会でも何度も協議を行い、今年度議案の一つとして提出させていただき、みなさんからご承認をいただきました。今年の秋に行なわれます「第1回都道府県士会協議会」には必ず出席し、千葉県士会の意見を表明して参ります。

地域に山積する問題の解決をはかり、より質の高いサービスを県内のすべての言語障害児者の方に提供できるようになることを目標にお互い努力して参りましょう。

◆千葉県言語聴覚士会第3回総会の報告

日 時：平成15年6月22日(日)13:00～13:50

場 所：千葉大学医学部附属病院 第3講堂

議 長：塘まゆり（千葉市障害者福祉センター）

副議長：櫻井正人（千葉大学大学院自然科学研究科情報科学専攻博士後期過程）

書 記：酒井千代（佐倉ホワイエ）

田中智子（君津中央病院）

議事録署名人：倉持裕子（川崎製鉄千葉病院）

宇野園子（我孫子市身体障害者福祉センター）

会員数155名、出席者数36名（委任64名）

I. 報告事項

平成14年度活動報告、決算報告、会計監査報告がなされた。

II. 協議事項

1. 第1号議案 平成14年度決算報告の承認に関する件

2. 第2号議案 役員の承認に関する件

3. 第3号議案 平成15年度活動方針案に関する件

4. 第4号議案 平成15年度予算案に関する件

5. 第5号議案 日本言語聴覚士協会都道府県士会への参画に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認された。

◆社会局から

1. 千葉県内のI、IIの施設について

千葉県内において、平成15年6月13日時点で言語聴覚療法I、IIの施設基準を算定された施設数は、言語聴覚療法Iの施設が11施設(3増加)、言語聴覚療法IIの施設が50施設(6増加)となっています。今後6月と12月に社会保険事務局に問い合わせ、ニュースでは施設数を、HP(会員専用)上で施設名を公開していきます。

2. 都道府県士会について

今年6月6日の第5回地域機能組織代表者会議で、都道府県士会加入申請手続きなどの具体的な内容が説明され、8月受付開始、第1回都道府県士会協議会は秋に開催される予定が報告されました。6月7日、日本言語聴覚士協会総会において、都道府県士会、都道府県士会協議会の設置が承認されました。

それを受け、6月22日、千葉県言語聴覚士会第3回総会において都道府県士会への参画に関する件が承認されました。都道府県士会協議会へ加入し、千葉県士会として独自性が損なわれない活動ができるよう、千葉県士会会員の意見を取り入れ、日本言語聴覚士協会に常に働きかけていくつもりであります。

3. ホームページについて

お探しのものが見つかるかもしれません。お時間のあるとき、ちょっとのぞいてみませんか？お待ちしております。

URL) <http://crst2002.hp.infoseek.co.jp/>

パスワード：affordance 半角英数で入力

ホームページの中には会員専用ページがあり、アクセスにはパスワードが必要となります。また、このページはJavaスクリプトを使用しておりますので、Javaの設定を解除している場合はアクセスできませんのでご注意ください

◆学術局から

1. 第2回研修会のお知らせ

第2回研修会のお知らせ

学術局では、平成15年度第2回研修会を次のように計画しています。講演後は、講師の先生を囲んでの交流会も予定しています。症例で悩んでいる方、経験の浅い方等お気軽にご参加ください。

*日時 平成15年9月28日(日)13時～16時

*会場 千葉大学附属病院3階 第3講堂

*講師 筑波大学心身障害学系助教授

長崎 勤 先生

*テーマ 「コミュニケーションの発達と支援
ー前言語期から言語獲得に向けてー」

*交流会 15時～16時

*参加費 会員・会友無料、会員外1000円、
学生500円

*申し込み及び問合せ先：

〒272-0004 市川市原木1862

千葉県立市川養護学校 野島 洋子

TEL:047-327-4155 FAX:047-327-6815

(電話でのお問合せは14時30分以降にお願いします。)

2. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。
貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒(B5またはA4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(ビデオ1本270円分、2本390円分)を貼って送ってください。

あて先：〒272-0004 市川市原木1862

千葉県立市川養護学校小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

①「STがおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

②「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤 泰子先生 日本橋学館大学

③「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」

講師 矢守麻奈先生 都立駒込病院

④「重複障害児のAAC-日常生活とST訓練を結ぶ」

講師 知念洋美先生 千葉リハビリテーションセンター

⑤「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」

講師 安田清先生 千葉労災病院

⑥「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援-通院及び通所(デイケア)リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」

講師 横張琴子先生 松戸神経内科

*貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

今年度より、希望者に研修会資料の配布を行います。返信用封筒(A4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(200円分)を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援-通院及び通所(デイケア)リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」

講師 横張琴子先生 松戸神経内科

4. 平成14年度第4回研修会報告

平成15年3月2日(日)、千葉大学附属病院第3講堂において、成人の失語症をテーマとした症例検討会を開催致しました。参加者は41名でした。(うち会員・会友37名、学生4名)発表者、助言者は以下のとおりです。

発表1.「急性期失語症者に対する言語聴覚療法－インフォームド・コンセントとリスク マネージメント」

船橋市立医療センター 山本 弘美

発表2.「介護老人保健施設でのSTの役割－症例を通して－」

ユー・アイ久楽部他 勝又 綾子

助言者:長谷川啓子先生(千葉大学附属病院)
宇野園子先生(我孫子市身体障害者福祉センター他)



症例検討会の後、会員・会友のみで情報交換会を行いました。老人保健施設勤務の方が中心のグループ、病院勤務の方が中心のグループに分かれ各施設の現状や問題点、役立つ情報等についての意見交換がなされました。当日のアンケートの結果では「とても良かった」が25名、「普通」、「期待していた内容と異なった」は各0名でした。結果の一部を下記にご紹介します。

〈研修会アンケート結果 「感想」より〉

〔症例検討会〕

- ・助言者の先生方と発表者の先生方との意見交換が良かったです。他の病院の現状や対応方法など、より具体的な意見が多かったのが大変勉強になりました。
- ・急性期、慢性期でのSTの活動について、それ

ぞれの役割を再認識できた。具体的なディスカッションが行われ、実践できる内容が多かった。

- ・急性期病院から1～2ヶ月で退院してしまい、その後のリハビリの必要性や施設の紹介がなくSTのいる施設を探すのに苦労される患者さんが結構いらっしゃいます。急性期と慢性期が同じ研修会でテーマとしてとりあげられており、いろいろな問題点やネットワークを共有していけるといいなと思います。
- ・私も療養型の病院に勤務しており、慢性期の方のSTとしての関わりや他の職種への理解を求めることへの難しさを日々痛感していますので、今回は改めて自分の働きかけに対し振り返って反省できる機会となりました。

〔情報交換会〕

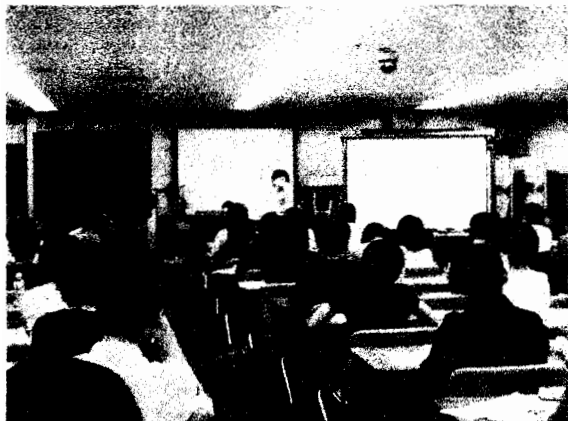
- ・個々の職場では相談できないことが話せてよかった。
- ・いろいろな情報(商品、勉強会)を教えてもらい、助かりました。

*学術局より：アンケートへのご協力ありがとうございました。結果より、「勉強になった」などの感想が多く寄せられ有意義な研修会となりました。今回で症例検討会は2回目でしたが、前回に比し質疑応答や助言者のアドバイスの時間を豊富に持つことができ、症例に関しての検討や日々の臨床に結びつくような討議がなされました。また、成人の失語症に関して急性期に関わる立場、慢性期に関わる立場という発表者各々の異なった活動が、一つの研修会の中で紹介され検討されたことは、貴重な機会となったことと考えられました。発表者、助言者の皆様には深く感謝申し上げます。

5. 平成15年度第1回研修会報告

平成15年6月22日(日)、千葉大学附属病院第3講堂にて、松戸神経内科の横張琴子先生をお招きし「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援－通院及び通所(デイケア)リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り」をテーマとした研修会を

千葉県言語聴覚士会ニュース NO.7 2003年7月27日
開催致しました。参加者は75名でした（うち会
員・会友50名、会員外12名、学生13名）。



当日のアンケートでは「とても良かった」が42名、「普通」、「期待していた内容と異なった」は各0名でした。結果の一部をご紹介します。

〈研修会アンケート結果 「感想」より〉

- ・ビデオや映像を使われており、とても分かりやすく学ぶことができました。今までの教科書に書いてあったこととは異なり「本当のリハビリテーションとはこういうものだ」という感動がありました。患者様の予想もつかないほどの改善に驚きました。
- ・重度の患者様でも希望、喜び、感動によって言語面の向上がはかれるということを学びました。今後の診療に生かしていきたいと思います。大変興味深い内容でした。
- ・私の勤務先が老健なので、大変参考になりました。絵画や習字の導入の仕方も教えていただき、実践してみようと思いました。
- ・現在、介護老人保健施設に勤務し老健でのSTの役割に大変生き甲斐を感じ始めています。次回このような機会があった際にはぜひもう少し詳しい内容を伺えたら幸いと思います。
- ・発症から1年でプラトーと判断するDr.やSTが存在することに驚きました。長い経過を追って治療効果を考えるということで、患者様や家族の心理的サポートについて学ぶことができました。
- ・普段患者様と接していて、その方が重度であればあるほど、リハビリの果たす役割とは何であ

ろうか、と考えることが多い。研修会を拝聴して、人間には秘めた可能性がある、楽しく笑いのある充実した生活（人生）を送る権利があると、改めて痛感いたしました。1人職場でついつい私自身も自信をなくしたり、不安になったりすることもしばしばですが、可能性を信じ、明日につなげていきたいと思います。

*学術局より：アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は平成15年度第1回目の研修会でしたが、アンケートの結果より、「大変参考になりました。」というご意見を多数いただきました。研修会で得られたものを、参加された皆様の日々の臨床に役立てていただきたいと思います。講師の先生や、ご協力いただいた皆様には深謝いたします。今後も会員・会友の皆様には、研修会への多くのご参加とご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

6. 症例検討会開催のお知らせ

学術局では、15年度第3回と第4回の研修会を次のように計画しています。

* 第3回研修会 平成15年11月頃
成人分野の症例検討会

* 第4回研修会 平成16年1月頃
小児分野の症例検討会

症例を提案してくださる方を募集します。（成人、小児各2例ずつ）日々の訓練で悩んでいる症例がありましたら、ぜひこの機会にご提案ください。助言者の先生をお呼びしての意見交換も予定しています。経験の浅い方もベテランの方もぜひこの機会をご利用ください。

対象となる障害等は限定しませんが、発表をご希望の方は下記までご連絡ください。

申し込み及び問合せ先：

〒290-0512 市原市鶴舞575 千葉県循環器病
センター リハ科 ST神作 暁美

TEL:0436-88-3111, FAX:0436-88-3032（電話でのお問合せは平日17:00前後にお願いします。）

施 設 紹 介

市川市リハビリテーション病院

ST 篠塚鍛男

1. 施設概要

市川市リハビリテーション病院は平成10年に開設した市川市保健医療福祉センターの中核をなす施設で、病床数100床のリハビリテーション（以下リハ）専門病院です。

当院は総合リハ承認施設であり、リハ科医師5名（リハ専門医2名）、リハスタッフは28名（PT12名、OT10名、ST3名、CP1名、MSW2名）です。

2. STの業務内容

入院患者さんの多くは成人で亜急性期～回復期です。主な障害は高次脳機能障害、運動障害性構音障害、嚥声、嚥下障害です。

当院ではSTが言語障害面の評価・訓練を行い、他の高次脳機能障害（記憶、注意、学習、精神機能、他）の評価・訓練はCP（臨床心理士）が行っています。業務を分担する事で評価を迅速に行い、入院早期から訓練を開始出来るような体制をとっています。

しかしながらSTスタッフの経験が浅く、STとしての質の向上、近隣病院（施設）との情報交換や連携等、課題は多くあります。

このような未熟な状態では有りますが、「適切な訓練を、適切な時期に、適切に行う」をモットーに、日々臨床を行っています。

以上、簡単ですが紹介させていただきました。今後とも宜しくお願い致します。

所在地

〒272-0802 市川市柏井町4-229-4

市川市リハビリテーション病院

TEL:047-320-7111 FAX:047-339-7515

Email:reha-rehabil@city.ichikawa.chiba.jp

旭 神 経 内 科 病 院

ST 平山淳一

私の勤める旭神経内科病院は、病床数46床のリハビリ病院です。当院は昨年9月より46床すべて回復期リハビリテーション病棟を取得し、今年度は総合リハビリテーションの施設基準も取得予定で、特にここ数年リハビリに力を注いでいます。そのような中、言語部門では常勤ST5名（うち、2名は併設施設兼務）が入院・外来の訓練を行っております。対象は主に脳卒中後の言語障害・構音障害・嚥下障害・高次脳機能障害で、その他にパーキンソン病・脊髄小脳変性症など変性疾患の方の訓練も行っています。

入院リハビリに関して、今まで患者さん一人あたり週3～5回行っていましたが、今年度より患者一人に対して二人担当制を導入し、最大で月曜から土曜までの6日間、毎日リハビリが行える体制を取っています。その他、入院・外来リハの他に、失語症の方だけを対象とした失語症通所リハビリテーションや、併設の老人保健施設でのリハビリも行っています。

当院のリハビリスタッフは（PT・OT・臨床心理士も合わせ）30歳前後の若い人が多く、その若い力で日々切磋琢磨しながら臨床を行っています。

所在地 〒270-0022 松戸市栗ヶ沢789-10

旭神経内科病院

TEL:047-385-5566 FAX:047-389-1356



臨床奮戦記

—— 指導に来なくなったけいたくん ——

けいたくんは3歳になったばかりの男の子です。ことばの遅れを心配して、お母さんが私のところに相談にいらっしゃいました。人見知りが強く初めての場所にも慣れにくいと
のことで、ずっとお母さんにしがみついていた。

園城寺式発達検査では、[対人関係]、[発語]、[言語理解]が年齢よりも半年から1年程低く、
その他運動面や基本的習慣には遅れはみられませんでした。

お母さんからの話しのなかでわかったことは、周りに子どもがいなくてしかも一人っ子
のため子どもとの接触の体験がほとんどないこと、お母さんも人とのおつきあいが少なく、
どちらかという外に出るのは好きではないということでした。そして、けいたくんはビデオ
を見るのが大好きで一日中つけているということでした。

そこで私はお母さんに「ビデオを見る時間を減らしたいとは思いませんか？」と尋ねてみ
ました。お母さんは「減らしたいとは思っているけれど、見せないと泣いてしまうので……。」
という返事だったので、私は「もしお母さんが本当に減らしたいと思うのなら、泣いても仕
方がないのでは…」というお話をしました。また「決まった時間だけにするなど、減らして
みては」、「お母さんとけいたくんが楽しく一緒に遊べることをやってみては」、「外へ遊びに
連れ出してみてもいい」という具体的な提案もしました。

その時けいたくんはお母さんの膝の上に座って、私たちの話をじっと聞いていたようです。
家に帰る車の中でけいたくんは大泣きをし、「ビデオがもう見られなくなると思った」らしい
ということでした。私の所には当分の間つれて行く事はむずかしいとのことで、指導は初回
で中断したままになってしまいました。(プライバシー保護のため一部修正を加えています)

ことばの遅れを主訴に相談にいらっしゃる方のなかに、ビデオやテレビがつけばなしという家庭が
多くあります。言語面ではもちろんですが、対人関係や情緒面などへの影響も懸念されるため、時間を
短くしたり、特定の番組のみ見せるなどの制限が必要だと私は考えています。しかし、このケースのよ
うに、お母さんの考えを尊重し確認しながら話を進めていったつもりだったのに、指導に来てもらえな
いという残念な結果になってしまいました。(ST S子)

☆皆さんは、テレビやビデオの視聴の問題についてどのようにお考えですか？

☆皆さんは、お母さん（保護者）に対して何かを伝える時、どのようなことに気をつけて
いらっしゃいますか？ 誤解されたりした経験はお持ちでないですか？

皆さんの臨床体験のなかで、うまくいかなかった事例をぜひお寄せください。

仲間のSTに話すような気軽さで、一緒に考えてみませんか。

また、この事例に対しての皆さんの考え、感想等もお寄せください。

原稿送付先：事務局または FAX:020-4622-0721 E-mail: takenaka@iris.dti.ne.jp

*次号に、皆さんから投稿されたものを掲載する予定です。

平成15年度 理 事 会 の 報 告

＜第1回＞

日時：2003年4月27日 15:00～16:40

場所：千葉市療育センター 第3会議室

出席者：勝又, 神作, 柴田, 高橋, 竹中, 田辺, 常田, 根本, 野島,
村西(以上旧理事及び執行部予定者)田中, 古川(書記)
(会長より)

- ・第3回千葉県言語聴覚士会総会(以下「第3回総会」)
について

(事務局より)

- ・第3回総会について
- ・会員承認について
- ・次回の協議事項について

(学術局より)

- ・第3回総会後に行なわれる研修会について

＜第2回＞

日時：2003年5月11日(日) 13:00～17:00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又, 神作, 柴田, 竹中, 常田, 野原, 村西(執行部予
定者)田中, 古川(書記)

(事務局より)

- ・平成15年度活動方針、予算(案)について
- ・日本言語聴覚士協会のポスターについて
- ・新入会員の承認について
- ・千葉県士会への講師依頼について
- ・委員会の位置づけについて
- ・第3回総会について

(学術局より)

- ・平成15年度活動方針、予算(案)について
- ・第3回総会後の研修会について

(社会局より)

- ・平成15年度活動方針、予算(案)について
- ・新生児聴覚スクリーニング検査および検討委員会につ
いて
- ・地域リハビリテーション協議会参入について
- ・研修会後の懇親会について

＜第3回＞

日時：2003年5月21日(水) 19:43～23:40

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又, 神作, 柴田, 竹中, 常田, 野島, 村西(執行部予
定者)田中, 古川(書記)

(事務局より)

- ・平成15年度活動方針、予算(案)について
- ・第3回総会について
- ・新入会員の承認について
- ・平成15年度一般会計予算(案)について

(学術局より)

- ・平成15年度活動方針、予算(案)について
- ・第1回研修会について
- ・研修会に関するアンケートについて

(社会局より)

- ・平成15年度活動方針、予算(案)について
- ・地域リハビリテーション協議会参入について
- ・研修会後の懇親会について

＜第4回＞

日時：2003年5月29日(木) 20:00～0:25

場所：千葉大学医学部附属病院 第2会議室

出席者：勝又, 神作, 常田, 野島, 野原, 村西(執行部予定者)
田中, 古川(書記名)

(事務局より)

- ・第3回総会議案書(案)について
- ・他県士会のニュースについて
- ・第3回総会, 第1回研修会の案内について
- ・第3回総会の委任状について
- ・監事の役割について

(学術局より)

- ・第1回研修会の案内について
- ・研修会に関するアンケートについて
- ・第1回研修会の役割分担, 準備について

(社会局より)

- ・第3回総会の第5号議案について
- ・研修会後の懇親会について

＜第5回＞

日時：2003年6月4日(水) 19:50～0:10

場所：千葉大学医学部附属病院 第2会議室

出席者：勝又、神作、竹中、常田、野島、村西(執行部予定者)
田中、古川(書記)

(事務局より)

- ・第3回総会議案書について
- ・新入会員の承認書類について
- ・理事会の引継ぎのための文書作成について
- ・第3回総会、第1回研修会の役割分担について

(学術局より)

- ・平成15年度学術局活動方針の具体案について
- ・研修会資料の希望者への発送業務について

(社会局より)

- ・平成15年度社会局活動方針の具体案について
- ・言語聴覚士の情報公開のためのアンケートについて
- ・県内施設の施設基準の取得状況の調査について
- ・社会局の広報活動について

＜第6回＞

日時：2003年6月12日(木) 19:55～23:00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、田辺、常田、並木、根本、野原、
村西(旧理事及び執行部予定者)田中、古川(書記)

(事務局より)

- ・第5回地域職能組織代表者会議への出席について
- ・第3回総会の議長団について
- ・第3回総会の台本について
- ・第2号議案の説明原稿について
- ・新入会員の承認について
- ・第3回総会の台本、理事の役割分担、当日の配布資料について

(学術局より)

- ・第1回研修会について

(社会局より)

- ・地域リハビリテーション協議会への参入に関するアンケートについて

＜第7回＞

日時：2003年6月17日(火) 19:30～23:40

場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、
村西(以上執行部予定者8名) 田中、古川(書記2名)

(事務局より)

- ・第3回総会の出席人数、議長団について
- ・平成15年度第1回研修会の出席人数について
- ・平成15年度県士会ニュース第1号について
- ・第3回総会当日の詳細について
- ・事務局員の承認について

(学術局より)

- ・平成15年度第2回研修会について

(社会局より)

- ・新生児聴覚スクリーニング検査について
- ・日本耳鼻咽喉科学会地方部会でのパンフレット配布について
- ・社会局員の承認について

＜第8回＞

日時：2003年6月22日(日) 16:45～17:00

場所：千葉大学医学部附属病院 第3講堂

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、常田、野島、野原、
村西(以上理事8名) 田中、古川(書記2名)

(事務局より)

- ・新入会員について

松戸神経内科の松下悠紀子氏、第二北総病院の三好茜氏、
亀田総合病院の近藤真弓氏・小宮山則彦氏・二ノ形恵氏・
小此木茜氏、旭神経内科病院の大足田鶴子氏、ナーシング
プラザ流山の小芝圭氏、行徳総合病院の吉田千恵氏、塩田
病院の石井麻紀氏、東京都立大塚病院の鈴木勉氏が、新入
会員として承認された。

(紙面の都合上、「報告事項」と「協議事項」をまとめて
記載してあります。)

求人情報

名称：千葉徳洲会病院
〒274-8503 千葉県船橋市習志野台 1-27-1
募集対象：言語聴覚士 1名 経験者
勤務開始時期：8月から随時
勤務条件：常勤 4週8休
給与は経験を考慮し応相談
主な対象：成人（失語症 構音障害 嚥下障害 高次脳機能障害など）
小児（言語発達遅滞など）若干名
問い合わせ：電話 047-466-7111 リハ科
S T中沢まで
その他：当院は 304 床の病院で、38 床の回復期
リハビリテーション病棟をもっています。
S T定員 4 名の中の 1 名の募集です。
病院についての概要はホームページをご覧ください。
<http://www.chibatoku.or.jp/>

名称：筑波病院
・茨城県つくば市
・S T若干名募集（要免許）
・対象は聴覚障害以外の成人と小児
・言語心理室 千本（ちもと）恵子へ直接
問い合わせ。 電話：029-855-0777（代表）



◆事務局から

1. メールマガジンについて

メールマガジンを随時発行しています。本ニュースを補完するものや、求人情報など速報性の高い内容のものが中心となっています。会員のみなさんのご意見やご希望をお待ちしています。

「千葉県言語聴覚士会メールマガジン」

配信登録・停止 URL)

<http://www.egroups.co.jp/group/CRST-MG>

問い合わせ：CRST-MG-owner@egroups.co.jp

2. 入会申込事項の変更届けについて

勤務先、住所など入会申込事項の記載事項に変更のある方は、事務局までご連絡ください。

3. 会費納入について

平成 15 年度の会費未納の方は、事務局までご連絡ください。

編集後記

今年の梅雨は長いですねえ。それでも、すいかもビールもおいしく、あちこちでお祭りがあり夏本番です。担当者がかわりましたが、これからもよろしく願いいたします。

事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010

君津中央病院 リハビリテーション科 言語療法室

TEL：(0438) 36-1071 FAX：(0438) 36-3867

ホームページ

<http://crst2002.hp.infoseek.co.jp/>

会員専用パスワード：affordance